

コース長挨拶	1
教職員から	2
学生から	3
卒業生から	4
2020年度の進路指導について	5
2020年度進路先一覧	5
2020年度人間情報工学コース日誌	6
2020年度受賞・表彰	7
人間情報工学コーススタッフ紹介	8
2021年度人間情報工学コース役割分担	8
編集後記	8

発行◎秋田大学 理工学部 数理・電気電子情報学科 人間情報工学コース  
 Human-Centered Computing Course, Akita Univ.  
 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 Tel.018-889-2785 Fax.018-837-0408  
<http://www.ie.akita-u.ac.jp>

## コース長挨拶

## 良い日常習慣 = 正しい頭脳の成長プログラミング 有川 正俊

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。さらに、今年度から人間情報工学コースの2年次学生として配属された皆さん、本コースを選んで来ていただき、教職員一同大変喜んでおります。

昨年度からのCOVID-19感染対策により、当コースでもさまざまな混乱が生じました。昨年3月24日の令和元年度卒業式は全学としては中止となりました。しかし、学位記授与式はコースごとに行いました。クラス発生に対して細心の注意を払い、マスク着用・手指消毒・3密回避・十分な換気を徹底し、学部・大学院合同で、2部屋(V-101とV-210)をネットワーク中継し30分以内で実施しました。参加者数は22名(学部:16名(全37名)、大学院(前期):6名(全13名)、大学院(後期):1名(全1名))でした。Zoomからのオンライン参加も結構ありました。

今年3月22日の令和2年度卒業式(学位記授与式)は、全体を4回に別け簡略形式で実施されました。その後、コースごとで学位記手配(しゅはい)式が行われました。大学院の手配式は11:30-12:00に開催され、前期課程修了生18名のうち9名が参加しました。学部の手配式は15:30-16:00に開催され、卒業生41名のうち37名が参加しました。次の令和3年度卒業式では、マスクをはずして祝杯をあげたいものです。

昨年度の前期の授業は、すべてオンラインで実施されました。しかし、オンラインでは生活のリズムが取れない学生もあり、メンタル問題が顕在化しました。後期からは対面授業も許されましたが、10月当初はクラス発生を予防するために、講義室の学生間隔に2メートルの制約がかけられ、1部屋の講義室で行うことはかなり困難でした。当コースではこの制約と積極的に向き合い、複数の講義室を中継(たとえば、3部屋中継)、物理空間とデジタル空間のハイブリッドな融合の授業形態を取ることで、後期の最初から多くの授業を対面で実施できました。今年度(令和3年度)は、昨年度後期と同様に基本的には授業は対面で実施し、並行してオンライン受講も可能とします。

以下では、最近の学生さんが陥りやすい問題に関して5点アドバイスをさせていただきます。コース長のあいさつを締めさせていただきます。

### (1) 検索サービス依存症に注意

レポート作成でも志望動機作文でもなんでもGoogleなどで検索して、その結果をコピーして、そのまま使って満足している学生さんをよく見ます。この検索サービス依存症により、学生さんが「考えなくなっている」傾向が大変懸念します。検索サービスに頼り過ぎると、脳は退化し、自信を失い悪循環に陥ります。まずは自分で十分に考えて、どうしても分からない状態にして(脳をハングリーな状態

にして)から検索サービスを使うようにしてください。

### (2) ゲームホリックに注意

ゲームホリック(ゲーム依存症)は2019年にWHO(世界保健機関)でも正式に病気として認められました。実際にゲームホリックのために授業に出られなくなり留年したヒトを何人か見てきました。ゲームをする場合は、かならず制限時間を決めてやってください。1日1時間ぐらいが上限のお勧めです。もっとお勧めとしては、リアルワールド(ゲーム)をいろいろな視点から楽しんでください。

### (3) プログラミングとはメモリ空間のイメージ力

プログラミングは、文字列だけで理解する行為と勘違いしている学生さんが多いです。これは、サンプルコードをどこかからコピーして実行させることをプログラミングと勘違いしているからだと思います。実は、変数、ボタン、ウィンドウ、アプリケーション、なんでもすべては、メモリ空間のあるデータ領域(オブジェクト)として表現されており、プログラミングとはデータ領域を作成・操作する命令の組み立て作業です。つまり、メモリ空間上のデータ操作のイメージ力がすなわちプログラミング力です。

### (4) になりたい自分のイメージを明確に

自分の未来イメージを持たずに、ボーっと生きている学生さんが多いように思います。当コースのカリキュラムをこなせば、ある程度の能力がだれでも身に付くようにはなっていますが、やはり個人個人でしっかりした自分の未来イメージ(1・3・10年後)を持つことは、より効率の良い成長につながります。

### (5) 運動習慣・先手先手・緩急の重要性

身体(体調)が悪いと頭は働かせません。身体を強くするためには日常的な運動(散歩でも遠距離買い物でも良い)が重要です。身体が弱くと血流が悪くなり、呼吸が浅くなり、脳に十分な酸素が供給できなくなり頭が働かなくなります。頭が働かないと、授業に付いていけない、レポートがこなせなくなります。これを放っておくと、次の授業がまたついていけない、提出できないレポートが増え、負の連鎖が増大します。先手先手の対応で、この負の連鎖を予防してください。最悪の場合は、この負の連鎖のせいで体も心も重くなり、ひきこもりの病的な悪循環に陥ってしまいます。しかし大丈夫です。お困りごとは何でも当コース教職員にお気軽にご相談ください。全集中で学生さんに取り付いた鬼を退治します。最後に、責任感の強い学生さんは真面目過ぎて休みなく努力して心身障害に陥る危険性があります。何事も緩急のバランスが重要です。睡眠・休暇を取る、いつもと違うことをする、魂を解放させる、仕事を忘れることは、長期的視点では重要な自分(リセット)管理テクニックです。

## 一緒に研究をしよう！

石沢 千佳子

学生の皆さんは、4年生や大学院生になると研究を行います。研究を進めるためには議論をすることも重要です。例えば、私たちの研究室では、PCを用いて文章を書いている人が順調に作業をしているのかどうかを判別するための研究をしています。この研究の実験計画を立てるときに、何を計測したら「順調な状態」を把握できるのかについて話し合ったことがあります。

ある学生さんは、時間内に書いた(PCに入力した)文字数を数えると良いのではないかと言います。順調に作業が進んだ場合、ある程度の量の文章が書き上がっているからです。また、別の学生さんは、順調でないときにタイプミスが多く発生するので、削除した文字数も数えると良いのではないかと言います。どちらも良さそうなアイデアです。しかしながら、その一方で、作業者の気持ちも知る必要があるのではないかという議論になりました。というのは、作業が順調に進まないときは焦ったりイライラしたりするので、作業者の心理状態も関連していると考えたからです。では、ヒトの心理状態を計測するためにはどうすれば良いのか？という所まで話し合いが進んだとき、私たちは行き詰まり、「順調な状態」という言葉の定義が不明瞭であることに気がきました。議論を始める前は言葉の意味を深く考えていなかったのですが、掘り下げて行くうちに、この研究では、完成した文章と作業者のどちらの状態が良好であれば「順調な状態」なのかが決まっていないことに気付いたのです。この気付きは、私たちにとって収穫でした。

研究について議論することは大変楽しいものです。誰かに自分の考えを話して意見を貰うことはとても有意義なことです。とはいえ、自分の考えを話すことは勇気の要ることもあります。上手く説明できず失敗することもあります。ましてや、自分の考えが否定されたときはショックですよね。大切なのは、失敗を失敗のまま終わらせずに、指摘されたことを真摯に受け止めて修正し、継続することだと思います。このようにして私たちは、研究を一步一步進めています。

学生の皆さんが研究を通して経験することは、社会に出て直ぐに直接役立つものではないかもしれませんが、研究は、私たちの暮らしを豊かにするために、これまでに無い新たなものを生み出そうとするものです。正解の書かれた教科書などは無く、自分の知識や経験を総動員して知恵を絞り、最適な現実解を探って行きます。この過程で、自ら学んで行く力

が養われるのです。この力は、皆さんが10年後、20年後、新たな企画を立てたり、新製品を開発したり、新天地を切り開こうとしたりするときに、必ず生きてきます。そのために、是非、一緒に研究をしましょう。楽しみながら。

## 複数の視点から考えてみる

佐藤 諒

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は、2020年4月に人間情報工学コースの技術職員として着任しました佐藤諒と申します。大学での生活は、高校までの生活と比較して、様々な場面で自由度が高く楽しいものになると思います。その反面、自分の行動に対して責任を持たなければならない場面や、様々な視点で物事を考える場面も増えると思います。

突然ですが、皆さんは「自責(自責思考)」と「他責(他責思考)」という言葉をご存知でしょうか。社会に出てからの仕事の場面などで使われることが多いので、あまり聞いたことのない言葉かもしれません。仕事の場面では、自分自身やチームでの行動結果を振り返り、同様の状況で同じ失敗を繰り返さない、または、より良い行動をするための改善案などを考える際の原因分析で、原因の分類に使われる言葉です(単に個人の物事の考え方を指す言葉でもあります)。簡単に説明すると、自分が行動した結果に対して、その結果になった原因は「自分にあるのか(自責)」、「他者にあるのか(他責)」を考えて、原因を整理することです。例えば、「自責」であれば「自分の〇〇を改善しよう」、「他責」であれば「チームの〇〇を改善しよう」というような改善案につながります。この文中での「自責」と「他責」は、あくまでも原因を分類しているだけですので、どちらの方が良いという訳ではありません。

原因の分類を考えたことはないかもしれませんが、生活の中で自分の行動を振り返って反省したり、次の行動を考えたりしたことはあると思います。もし、何かの振り返りを行う機会があれば、元の原因を「自責」か「他責」に分類してから次の行動を考えてみてください。そして、分類した方の視点で次の行動を考えついたら、もう一方の視点でも何かできることはないかを考えてみてください。別の視点から考えてみることで、より良い案を考えついたり、選択できる行動の幅が広がったりするかもしれません。

「自責」と「他責」に限らず、立場や関係性の違いなど、物事は様々な視点から考えることができると思います。一つの視点にこだわる事は悪いことではありませんが、こだわり過ぎると思考停止状態に陥るかもしれません。複数の視点から物事を考える能力は、大学だけではなく、社会人になってからも役に立つと思います。日常生活や大学での講義・研究などで何かを考える際の参考にしてみてください。

# 大学で学ぶ情報工学

2019年4月入学

高橋 駿哉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。未だ収束しない新型コロナウイルスの感染もあり、大学生活への不安も大きいとは思いますが、それ以上に大学生活への期待を膨らませながら過ごせることを願っています。その一助になるべく、人間情報工学コースの魅力について紹介したいと思います。

私は情報分野への関心が強く、特にプログラミングの学習意欲などもあり、この学科を選びました。学部2年生からはコースが分かれ、それぞれの専門に深く関係する講義が増えますが、学部1年生の間は様々な分野について広く学びました。私の個人的な感想ですが、1年生の間の講義は基礎を育てるための側面が大きく、私が学びたかった情報工学やプログラミングに関連した授業も多くはなく、少し退屈に感じることも正直ありました。しかし、2年生になり人間情報工学コースに配属されてからはプログラミングの授業も多くなり、ほぼすべての講義が情報技術に関連したものであるため、1年生の頃よりも遥かに講義が楽しく感じています。そしてなにより、2年生として過ごした期間は、新型コロナウイルスの影響もあり、大部分がリモートでの授業であったにも関わらず、不自由することなく学習を継続できたことがこのコースの素晴らしい点でした。情報分野に長けたコース故に、リモート授業への移行もスムーズで、この不自由な世界情勢が情報分野を学ぶ意味をリアルタイムで体感する良い機会ですらありました。

大学で学んだ情報技術が役に立つ例としては、LinuxというOSの操作を学ぶ講義が私の趣味に大いに役立った経験があります。私は趣味でゲームをよくプレイするのですが、友達とオンライン上でマルチプレイをする(一緒に遊ぶ)ために、プライベートなサーバーを自分で用意しなければならないゲームも多数存在し、その為にVPS(仮想専用サーバ)を借りました。VPSでは仮想のサーバーマシンだけが提供されるので、マルチプレイをするためのプログラムをサーバー上に自分で構築しなければなりません。その際にLinuxを扱う必要があったため、講義で学んだ操作コマンドなどの知識が大いに役立ちました。

前述の通り、大学で情報技術を学ぶ利点は、今の情報社会においては、学んだことがすぐに自身の生活に影響を与えてくれることにもあります。広い情報分野の中で、少しでも興味がある分野があれば、人間情報工学コースでの大学生活は楽しいものになります。また、情報分野に限らず、自分が興味を持てる分野をこの1年で見つけてみてください。

Information of  
**情報**

学生から

## ア・ン・テ・ナ

2018年4月入学

高秀 千冬

皆さんの毎日は楽しいですか?本当に好きなことに時間を使っていますか?馬鹿みたいなことに、一緒に本気になってくれる人は何人いますか?

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、在学生の皆さん、日々お疲れ様です。新入生の皆さんは秋田大学という道を選び、入学を果たされました。一方、私や私と同期の人は今、就職や大学院進学といった人生の岐路に立っています。既に進路を決めた人もいれば、まだ悩んでいる人も多いのではないのでしょうか?自分の進む道を選ぶことは、人生の方向に加え、出会う人を選ぶことだと私は思っています。当たり前のように、日常に転がる無数の選択肢を選び続けた結果、現在を手繰り寄せているはず。気まぐれで話しかけた相手、バイトをする場所、なんとなく入った課外活動など、事の大きさに限らず、選択した結果が今に繋がっていると思います。

人生が意図しない何かに向かう時に働く自分のアンテナを、私は結構信用しています。思い返せば、ほんやりと見えていたルートを蹴り飛ばし、自分のアンテナがある瞬間に反応した方向へと進んできた人生です。私が秋大で情報工学を学ぶことになったのは偶然に等しく、現在所属している学生自主プロジェクトも、ポスターを見て衝動的に連絡を取り、気が付いたらふらっと入っていました。どちらも計画的とは言えない選択でしたが、プログラミングを学んだことで自分の好きな業界にアクセスできるルートが増えたり、学生自主プロジェクトで取り組んでいるプロジェクトマップの活動を新聞に取り上げてもらえたりしています。そして何より、その環境で出会った、同じような目的・目標を持っている仲間は私にとって大きな財産になっています。必然ではなく、「選択した」結果、遭遇した人達です。

自分のアンテナに従って道を進み、仲間を見つけるのはとても楽しいですし、お勧めです。学内の人、近くにいる人に限らなくてもいいと思います。半ば悪ふざけのような思い付きも、真剣なアイデアも、「一緒にやろう」と言ってくれる相手がいる人生は悪くありません。本気で向き合ってくれる人と、本気で好きなことに没頭する時間ほど貴重なものはないと思います。進む方向に迷った時は、出会いたい人がいそうな方を選ぶのも一つの手ではないでしょうか?この文章を読んでくださった人のアンテナがほんの少しでも反応し、人間情報工学という道やその先にいる人、知識、経験と出会ってもらえると嬉しいです。

## 研究室生活のメリット

景山研究室 令和3年3月学部卒業  
菊地 亮太

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生の皆さんは、充実した生活を送れていますでしょうか？昨年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、これまでとは異なる生活様式を求められ、大変な1年を過ごされたことと思います。このような中で、入学に不安を抱いている方もいるのではないのでしょうか？ですが、心配はいりません。大学ではオンラインで講義を行う準備も整えられていますし、何かあった場合の相談窓口なども充実しています。先生方も私たち学生と真摯に向き合ってくれます。ですので、何か困ったことがあれば、1人で抱え込むのではなく、先生方や友人に相談しましょう。私も自宅待機の時は、ビデオ通話などを用いてよく友人と連絡をとっており、そのおかげもあって不安を抱きながら生活するようなことはありませんでした。新型コロナウイルス感染症がいつ収束するのか分からない状態ですが、1人ひとりが規則を守って生活することが大切です。この危機を乗り越えるために、一緒に頑張りましょう！

さて、前置きが長くなってしまいましたが、ここからは大学での研究活動について、私の経験を踏まえて話したいと思います。私は、「高齢者の方々にゲームをプレイしていただき、その時に発生した感情などを推定する」という研究を行っています。私の代から始まった新しい研究ということもあり、最初は何から手をつけていいのか分からなくて戸惑いました。また、プログラミングを行う必要があるのですが、初めの頃は作ったプログラムがうまく動作せず、頭を抱える日もありました。しかし、そんな時に研究室の先輩方に助けていただきました。研究をどのように進めていけばいいのか、プログラムをどう作成すればいいのか、数多くのことを学びました。先輩からのアドバイスを元に試行錯誤し、その結果プログラムが正常に動作した時は、とても嬉しかったことを覚えています。このように、多くの人と関わりを持つことは、研究を進めていく中で非常に重要なことです。そして、この経験はそのまま自身のコミュニケーション能力向上にも繋がります。これは、研究室で生活することの大きなメリットです。私は学外でもデータを取得するのですが、学外の方と円滑なコミュニケーションがとれた時は、以前よりもコミュニケーション能力が向上したことを実感しました。

皆さんも研究室に配属された際には、同期や先輩方、先生方と積極的にコミュニケーションをとることを意識して生活してみてください。研究活動を行っていくうえでも、自身にとっても、きっとプラスに働くはずですよ！

## 私の大学生活

橋本研究室 令和3年3月大学院博士前期課程修了  
加藤 葉瀬里

私がどのような大学生活を送ったのか時系列で振り返り、少しでも皆様の参考になればと思います。

1年生は右も左もわからずに、ただただ、授業、レポート、テストに追われていました。1年生のうちにできるだけ単位を取ってしまおうと必死な思いでした。1年生では他学科の授業も多く受講するため、幅広く多くの知識が身につきました。私は理系だったため、たまにある文系の授業がとても楽しかったのを覚えています。テスト期間は友達と図書館が終わるまで教え合い、友達の家に泊まり込みで朝まで勉強していました。本当につらい思いでしたが、あの時頑張ったよかったです。今は思います。

2年生ではだいぶ授業が落ち着き、サークルやバイトをする余裕が増えました。大学生は自由な時間が多いです。自分の趣味を見つけたり、自分磨きをしたりと、自分と向き合える時間が多くあります。私の場合はアルバイトに専念しました。大学生はアルバイト先でも想像以上に頼りにされます。私は役職をもらい、会議や研修などにも参加しました。社会に出る前に貴重な経験ができました。また、人との繋がりも増えます。今までは同年代の人との付き合いが多かったのですが、アルバイト先では幅広い年代の人と一緒に働くことになります。考え方、知識などたくさんのことを吸収できます。様々な視点から自分の考えを見つめられるようになり、人として成長できます。

そして3年生になり、大学生活によりやく慣れました。また、このころから勉学と就職活動を少しずつ始めなくてはいけなくなります。就職は人生においてとても大きな選択です。より深く自分と向き合う時間を作り、自分が果たして何をしたいのか、何が向いているのか考えなくてはなりません。また、研究室の配属が決まるのも3年生です。先輩方の話を参考に、どのような研究をしたいのか、何を学びたいのかを決めることが大切です。

4年生は就職活動と研究で再び大忙しの日々を送りました。周囲が内定を得ると当然焦りが出ます。しかし、そこで焦らずに自分と向き合うことが大切であると私は思います。また、研究が思うように進まないことがあっても自分が納得した研究を選べば、「自ら進んでいこう」というやる気を持てます。

大学生活は人としてとても成長できる時間です。今振り返れば、つらいことや苦しい思いも経験してよかったなと胸を張って言えます。皆様もどうか失敗を恐れずに様々なことに挑戦してください。そして様々なことを吸収してください。少しでもこれからの大学生活のアドバイスになれば幸いです。

2020年度から人間情報工学コースの進路指導を務めております。2020年は2月頃から新型コロナウイルスの影響が顕在化し、3月には殆ど全てのイベントや企業の選考がストップする事態となりました。その影響は現在も続いており、企業の説明会やイベントはオンラインに移行し、これまでとは全く異なる就職活動になりました。一方、密を避ける新しい行動様式にはITが不可欠で、これまで以上に情報分野が注目された一年でもありました。その様な背景もあり、人間情報工学コースへの求人数は2019年度に引き続き200社を超えました。情報系の企業に加えて、製造メーカ系の情報部門やCASEに注力する自動車業界からの求人も多数あり、コロナ禍でも人間情報工学の専門分野が必要とされていることを強く感じていました。

2020年度(2021年3月卒業・修了生)の進路状況を表1にまとめます。大学院生の進路は専門性に沿って研究・開発職が多く、殆どが第一あるいは第二志望の会社から内定を得ていました。学部生も就職希望の学生の就職率は100%でした。複数社の就職試験を繰り返すプロセスで自身のやりたいことが明確になるヒトもありますが、当コースの学生は目的を絞り込んだ効率の良い就職活動ができています。

大学院生の進路に研究・開発職が多い理由としては、専門性に加えて、デザインし実行する能力の高さが評価

された結果だと考えます。自分自身について語る時、これまで情熱を注いできた研究内容を伝えることができるのも大学院生の大きなメリットです。進路指導を俯瞰した印象ですが、困難に直面したときに「できない理由を探す」のではなく、最後まで諦めず「解決方法を模索し、努力を継続できる人」は、自身の希望とキャリアをより高いレベルで実現できる可能性のある企業に就職しているように感じました。

人間情報工学コースでは、学生の皆さんが自身の進路を考える際の参考にしてもらうため、キャリアデザインなどに関する各種ガイダンス、先輩による就職活動に関する報告会、卒業生・修了生による進路に関する講演会、プログラミングハッカソン、情報技術に関する講演会などを積極的に開催しております。一見関係の無いような話であっても、直面している課題を解決するヒントや新たな視点が得られることが多々あります。せっかくの機会を逃すことなく、自分のチカラとなるように積極的に取り組むことをお勧めします。

ポストコロナの新しい時代を切り開くために、他人を理解して情報発信できるコミュニケーション力やコミュニティを活性化できる人間力に加えて、自身の武器となる専門性を毎日の生活の中で高めてほしいと思います。

表1 人間情報工学コース大学院生・学部生、情報工学科学部生の進路状況(人数)

	大学院進学	一般企業	公務員	その他	未定	合計
大学院2年次	0	18	0	0	0	18
学部4年次	19	11	0	2	0	32

## 令和2年度卒業生 修了生進路先一覧

### ◆大学院博士前期課程修了生

[就職]

アイ・エム・サービス、アズビル、エイデイケイ富士システム、エス・エフ・ティー、SCSKニアショアシステムズ、NTTデータ先端技術、カーメイト、ソレキア、DOWAホールディングス、戸田建設、トヨタ自動車、ニコンシステム、日本製紙、パイオニアシステムテクノロジー、日立社会情報サービス、日立ソリューションズ・テクノロジー、富士通、ミネベアミツミ秋田事業所

### ◆学部卒業生

[進学]

秋田大学大学院博士前期課程(18名)、他大学大学院博士前期課程(1名)

[就職]

秋田魁新報社、NTTデータMSE、京セラコミュニケーションシステム、財産コンサルティング、JNシステムパートナーズ秋田事業所、デーコム、東北物産、ドコモCS東北、ニトリ、日立ソリューションズ東日本、リコーITソリューションズ

# 令和2年度 人間情報工学コース日誌

2020  
令和2年

- 4月 9日 大学院博士前期課程2年次個人面談1回目  
(担当:有川正俊教授)
- 4月 9日 大学院博士前期課程1年次個人面談1回目  
(担当:有川正俊教授)
- 4月 9日 大学院博士前後期課程個人面談1回目(担  
当:有川正俊教授)
- 4月 16日 在校生プレオリエンテーション
- 4月 17日 在校生遠隔オリエンテーション
- 4月 20日 新入生オンラインガイダンス(数理・電気電  
子情報学科128名、学部3年次編入3名、大  
学院博士前期課程11名の入学)
- 4月 21日 3年次個人面談1回目(4月28日まで、担当:  
水戸部一孝教授、石沢千佳子准教授)
- 4月 23日 4年次個人面談1回目(4月24日まで、担当:  
水戸部一孝教授、藤原克哉准教授)
- 4月 23日 2年次個人面談1回目(4月28日まで、担当:  
有川正俊教授、橋本仁准教授)
- 4月 27日 1年次個人面談1回目(4月28日まで、担当:  
有川正俊教授、高橋秋典助教)
- 5月 12日 初年次ゼミ「数理・電気電子情報学科」開始
- 5月 28日 インターンシップI(第1回:理系学生のため  
のキャリアガイダンス、講演者:我妻蒼子  
氏(株式会社マイナビ))
- 6月 13日 新入生対面ガイダンス(1回目)
- 6月 27日 学部2、3年次対面ガイダンス(1回目)
- 7月 11日 新入生対面ガイダンス(2回目)
- 7月 15日 北海道帯広柏葉高等学校での出前講義(講  
義動画の視聴)「人間情報工学とは～xRと  
5Gで拓く地方の未来～」(担当:水戸部一孝  
教授)
- 7月 18日 学部2、3年次対面ガイダンス(2回目)
- 7月 20日 理工学部編入学試験
- 8月 1日 新入生対面ガイダンス(3回目)
- 8月 3日 大学院理工学研究科博士前期課程推薦入試
- 9月 3日 大学院理工学研究科博士前期課程入試
- 9月 25日 新入生、在校生オンラインガイダンス
- 9月 29日 3年次個人面談2回目(10月6日まで、担当:  
水戸部一孝教授、石沢千佳子准教授)
- 10月 10日 理工学部総合型選抜I、II
- 10月 12日 4年次個人面談2回目(10月19日まで、担当:  
水戸部一孝教授、藤原克哉准教授)
- 10月 12日 1年次個人面談2回目(10月16日まで、担当:  
有川正俊教授、高橋秋典助教)

- 10月 21日 2年次個人面談2回目(10月28日まで、担当:  
有川正俊教授、橋本仁准教授)
- 10月 23日 インターンシップI(第2回:進路に関する体  
験報告会)、講演者:理工学部数理・電気電子  
情報学科人間情報工学コース4年 船木信吾  
氏、和光佑紀氏、高松未佳氏、大学院理工学  
研究科数理・電気電子情報学専攻人間情報  
工学コース博士前期課程2年 石崎瞭氏、内  
堀雄太氏
- 10月 25日 大学コンソーシアムあきた 令和2年度高大  
授業(後期)「高校生のための最新人間情報  
学(AIからVRまで)」(担当:有川正俊教授、  
水戸部一孝教授、景山陽一教授)
- 11月 5日 北海道帯広柏葉高等学校でのオンライン講  
演会「大学で学ぶことの意義～変革期を生  
きる後輩達へ～」(担当:水戸部一孝教授)
- 11月 9日 情報処理学会東北支部研究講演会(インター  
ンシップI第3回)「物流とICT 物流視点から  
のICTと地域産業」、講演者:遠藤八郎氏(創歩  
人ホールディングス株式会社代表取締役社長)
- 11月 11日 大学院博士前期課程2年次個人面談2回目  
(担当:有川正俊教授)
- 11月 13日 大学院博士前期課程1年次個人面談2回目  
(担当:有川正俊教授)
- 11月 13日 大学院博士前後期課程個人面談2回目(担当:  
有川正俊教授)
- 11月 30日 インターンシップI(第4回:卒業生による進  
路に関する講演会)、講演者:TON THAT  
LOI(トン タット ロイ)氏(東北大学大学院  
工学研究科)、加賀眞之介氏(株式会社ソフ  
トクリエイティブホールディングス)、福田亜紀  
氏(日本電信電話株式会社)
- 12月 1日 キャンパスクリーンデー(構内清掃)(担当:  
コース全員)
- 12月 7日 令和2年度大学院博士前期課程修士論文  
中間審査(中間発表会)(12月8日まで)
- 12月 7日 情報処理学会東北支部研究会(12月8日まで)
- 12月 19日 インターンシップI(第5回:プログラミング  
ハッカソン)、協力:444株式会社
- 12月 24日 大学院理工学研究科博士前期課程入試(第  
2次募集)

2021  
令和3年

- 1月 16日 大学入学共通テスト(1月17日まで)
- 1月 22日 理工学部総合型選抜Ⅲ、理工学部私費外国  
人留学生入試
- 2月 9日 令和2年度大学院博士前期課程修士論文審  
査会(2月10日まで)
- 2月 10日 令和2年度卒業課題研究発表会(2月12日  
まで)

- |       |   |       |          |
|-------|---|-------|----------|
| 2月12日 | 就活特別セミナー「就活準備総まとめ講座」、<br>講師:我妻誉子氏(株式会社マイナビ) | 2月25日 | 一般選抜前期日程 |
| 2月15日 | 3年次個人面談3回目(2月18日まで、担当:<br>水戸部一孝教授、石沢千佳子准教授) | 3月12日 | 一般選抜後期日程 |
| 2月19日 | 大学院博士前期課程1年次個人面談3回目<br>(担当:水戸部一孝教授)         | 3月22日 | 秋田大学卒業式  |

## 受賞・表彰

### 学会賞受賞

- 令和3年 3月 伊東慎平氏(博士前期課程2年、有川研究室)、佐々木一音氏(博士前期課程2年、景山研究室)、佐々木一織氏(博士前期課程1年、有川研究室)、永石明日斗氏、和光佑紀氏(学部4年、有川研究室)  
情報処理学会第83回全国大会学生奨励賞
- 令和3年 3月 菊地亮太氏(学部4年、景山研究室)  
令和2年度日本知能情報ファジィ学会東北支部研究会最優秀奨励賞
- 令和3年 3月 高松未佳氏、本田悠将氏(学部4年、景山研究室)  
令和2年度日本知能情報ファジィ学会東北支部研究会奨励賞
- 令和3年 3月 菊地亮太氏(学部4年、景山研究室)  
令和2年度情報処理学会東北支部学生奨励賞
- 令和3年 3月 和光佑紀氏(学部4年、有川研究室)  
令和2年度 北光会賞
- 令和3年 2月 有川正俊教授  
公益財団法人日本測量調査技術協会40周年特別功労者
- 令和2年11月 水戸部一孝教授、齋藤正親技術専門職員  
第4回羽倉賞(奨励賞)
- 令和2年 8月 山口祥生氏(2020年3月博士前期課程修了、水戸部研究室)  
日本交通科学学会若手優秀講演発表賞
- 令和2年 6月 新井達也氏(2020年3月博士前期課程修了、景山研究室)  
情報処理学会東北支部奨励賞
- 令和2年 4月 中村悦郎氏(博士後期課程2年、景山研究室)  
電気学会優秀論文発表賞
- 令和2年 4月 中村悦郎氏(博士後期課程2年、景山研究室)  
電気学会東北支部長賞(優秀論文賞)
- 令和2年 3月 伊藤悠大氏、グエンディンミントゥン氏、山田真奈氏(学部4年、景山研究室)  
令和元年度日本知能情報ファジィ学会東北支部研究会奨励賞

### 成績優秀表彰

- 令和3年 3月 令和2年度 学生表彰奨励賞  
中村悦郎氏(博士後期課程2年)
- 令和3年 3月 令和2年度 理工学研究科長表彰  
伊東慎平氏(博士前期課程2年)  
鴫田星斗氏(博士前期課程2年)  
伊藤悠大氏(博士前期課程1年)  
佐々木一織氏(博士前期課程1年)  
山田真奈氏(博士前期課程1年)
- 令和3年 3月 令和2年度 人間情報工学コース長表彰  
2年次 高橋駿哉氏  
3年次 目黒大樹氏
- 令和2年 4月 令和元年度 人間情報工学コース長表彰  
1年次 佐々木朱音氏

### 人間情報工学コース プログラミングハッカソン

- 令和2年 9月 最優秀賞(第1位):田村智一氏  
優秀賞(第2位):目黒大樹氏  
優秀賞(第3位):齋藤大河氏

※受賞時の学年・所属

人間情報工学コース  
スタッフ紹介



教授 景山 陽一



教授 水戸部 一孝



教授 有川 正俊



准教授 橋本 仁



准教授 石沢 千佳子



准教授 藤原 克哉



講師 中島 佐和子



助教 内海 富博



助教 高橋 秋典



助教 白井 光



技術専門職員 齋藤 正親



技術職員 佐藤 諒



協力教員  
准教授 横山 洋之



事務室  
事務系スタッフ 佐藤 功子

令和3年度  
人間情報工学コース  
各役割分

- ◎コース長 有川 正俊
- ◎就職担当(大学院および学部学生) 水戸部 一孝
- ◎学年担任
  - 1年次 白井 光
  - 2年次 高橋 秋典
  - 3年次 橋本 仁
  - 4年次 石沢 千佳子

編集後記

Information of 情報 Vol.31はいかがでしたか。2020年度は新型コロナウイルスにより様々な影響を受けました。本コースでも、公開講座、研究室見学、出前講義などの機会は減少せざるを得ず、またオープンキャンパスもオンライン開催となりました。しかし、こうした緊急事態が学生に与える影響に配慮して、新入生や在校生を対象としたオリエンテーション、オンラインガイダンス、対面ガイダンスは充実し、無事に学部生や大学院生が卒業・修了しました。本誌に掲載されたメッセージや記事の随所から、このような状況に対する皆さまの前向きな気持ちや姿勢が伝わります。ご多忙の中ご寄稿くださいました皆さまに心より感謝いたします。ありがとうございました。(編集担当:中島佐和子)